



ようかい ウクライナの妖怪バーバヤガー

ヨーロッパからアジアにかけてユーラシア大陸のいたるところに、人さらいの老婆^{ろうば}の伝説が伝わっています。日本でも山中に住み旅人を喰らうという鬼婆^{おにばば}の伝説は有名です。ウクライナにも、バーバヤガーという、森の中に住み、空飛ぶ臼^{うす}を杵^{きね}や箒^{ほうき}であやつる老婆^{ろうば}がいます。しかも、鶏^{にわとり}の足でできた柱の家に住んでいるのだそうです。ウクライナ語でもバーバはお婆さんという意味です。不思議ですね。

ウクライナ出身のオレナ・ゼムリヤチェンコさんは、2月にギャラクシティで開催^{かいさい}されたジャパンフェスタでバーバヤガーを紹介^{しょうかい}してくれました。今回のジャパンフェスタのテーマが「妖怪」だったからです。ウクライナの冬はとても厳しい

ものです。森で遊んでいた子どもが急な天候^{てんこう}の変化で雪嵐^{あらし}に見舞われ、命を落とすこともあったでしょう。人さらいに連れ去られた子どももいたことでしょう。洋の東西を問わず、大事な子どもたちを危険^{きけん}から守るために作られたのが、怖いお話^{こわ}です。でもバーバヤガーはちょっとトボけたところがあります。子どもに質問されることを嫌^{きら}ったり、考え事をすると弱ってしまったり、ユーモラスで憎^{にく}めない存在です。ちょっとだけ怖い話にしたのは子ども達にたいする気遣い^{づか}いでしょう。

ジャパンフェスタでは、新たに描き起こしたイラストを用いて、日本語で解説が行われました。オレナさんのウクライナ投影は、今後2か月に1度ほどのペースで開催^{かつやく}される予定です。今後の活躍を期待したいと思います。

2024年3月12日記

かいせついん た べいし
(解説員：田部一志)



ドームに現れたバーバヤガーの姿
イラスト：松本萌